

小児感染症の第31週(平成24年7月30日から平成24年8月5日)の集計結果

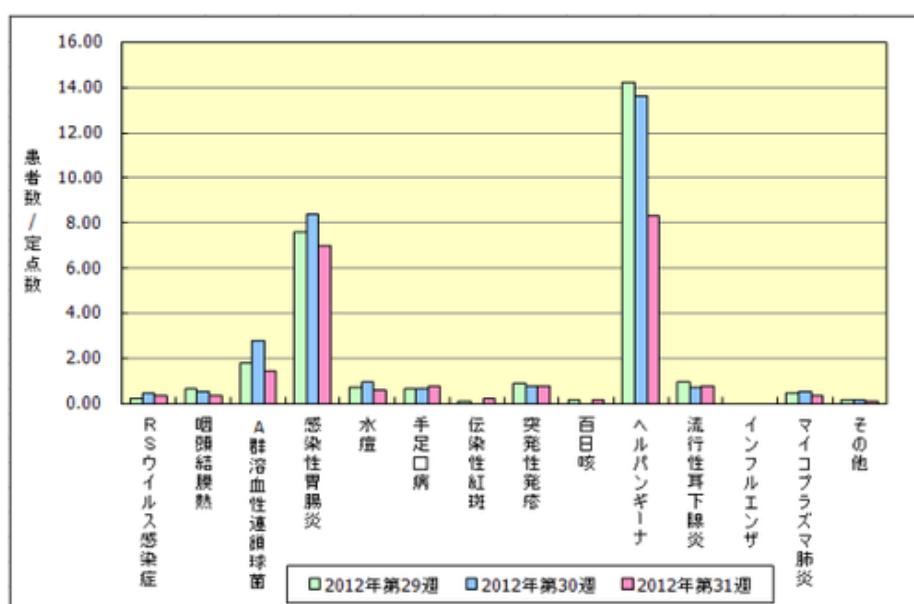
コメント

【今週の傾向】

○ヘルパンギーナは減少していますが、東南部やみなみ野地区では依然警報レベルをこえています。

飛沫感染が主なので、引き続き、手洗い・咳エチケット等を心がけて下さい。

○ 30歳代で1名の風しんの発生がみられました。



第31週疾患毎発生状況グラフ

	2012年	2012年	2012年	2012年	2012年	2012年	2012年			
	第26週	第27週	第28週	第29週	第30週	第31週	中央北 部	西部	東南部	みなみ 野
RSウイルス感染症	1 ↓	1 →	3 ↑	3 →	6 ↑	5 ↓	3	1	1	0
咽頭結膜熱	13 ↓	13 →	9 ↓	9 →	7 ↓	5 ↓	0	4	1	0
A群溶血性連鎖球菌	41 ↓	43 ↑	52 ↑	25 ↓	39 ↑	20 ↓	7	9	4	0
感染性胃腸炎	171 ↑	163 ↓	131 ↓	106 ↓	117 ↑	98 ↓	43	37	12	6
水痘	23 ↓	8 ↓	18 ↑	10 ↓	13 ↑	8 ↓	0	2	2	4
手足口病	6 ↓	6 →	26 ↑	9 ↓	9 →	11 ↑	0	0	9	2
伝染性紅斑	0 →	4 ↑	4 →	1 ↓	0 ↓	3 ↑	2	0	0	1
突発性発疹	10 ↑	6 ↓	12 ↑	12 →	11 ↓	11 →	0	6	3	2
百日咳	1 →	0 ↓	1 ↑	2 ↑	0 ↓	2 ↑	0	0	2	0
ヘルパンギーナ	21 ↑	65 ↑	117 ↑	199 ↑	191 ↓	116 ↓	24	22	48	22
流行性耳下腺炎	16 ↓	13 ↓	12 ↓	13 ↑	10 ↓	11 ↑	9	2	0	0
インフルエンザ	0 →	0 →	0 →	0 →	0 →	0 →	0	0	0	0
マイコプラズマ肺炎	4 ↑	1 ↓	9 ↑	6 ↓	7 ↑	5 ↓	0	3	0	2
その他	6 ↓	3 ↓	7 ↑	5 ↓	8 ↑	6 ↓	3	1	2	0

第31週疾患毎発生状況表

第31週	RSウイルス 感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性 連鎖球菌	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発疹	百日咳	ヘルパン ギーナ	流行性耳下 腺炎	インフルエ ンザ	マイコプラ ズマ肺炎	その他
～5ヶ月	2	1	0	2	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0
～11ヶ月	1	0	0	11	0	0	0	2	0	12	0	0	1	0
1歳	1	2	0	8	0	1	0	6	2	19	0	0	0	1
2歳	1	1	2	14	1	0	0	2	0	17	0	0	0	0
3歳	0	0	1	14	3	5	1	0	0	23	3	0	0	0
4歳	0	0	3	12	1	4	1	0	0	15	3	0	0	0
5歳	0	1	3	8	2	0	0	0	0	10	2	0	1	0
6歳	0	0	5	7	1	0	0	0	0	6	1	0	0	0
7歳	0	0	2	7	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0
8歳	0	0	1	7	0	1	0	0	0	5	2	0	1	0
9歳	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0
10～14歳	0	0	2	5	0	0	0	0	0	4	0	0	1	0
10～12歳												0		
13～14歳												0		
15～19歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
20歳以上	0	0	0	3	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
合計	5	5	20	98	8	11	3	11	2	116	11	0	5	1

第31週年齢別発生状況表

地区ブロックの分け方

- 中央・北部
本庁、石川事務所、加住事務所、北野事務所管内
- 西部
元八王子事務所、川口事務所、恩方事務所、浅川事務所、横山事務所、館事務所管内
- 東南部
由木東事務所、南大沢事務所管内
- みなみ野
由井事務所